

NEWSの楽曲はなぜ心に響くのか？

中国短期大学 情報ビジネス学科 田辺 真望

1. はじめに

私はNEWSのファンでNEWSが大好きなので、どのようなジャンルの楽曲が多いのか調べてみたいと思ったからだ。今回、Text Mining Studio Ver6.2.0を使ってテキストマイニングを行った。分析の結果よりNEWSの楽曲での作詞家の統一性についてはNEWSのメンバーが持っている世界観をより深く伝えていることが分かり、NEWSの楽曲のイメージではNEWSのメンバーを連想させる言葉が分かり、NEWSコンセプト・アルバムではその世界観が分かった。その3点よりNEWSの楽曲はなぜ心に響くのか？を考察してみた。私の中でNEWSの楽曲が心に響く理由が判明した。

2. NEWSについて

NEWSはメンバーの脱退を繰り返して現在の人数の4人体制となっている。現行のメンバーの名前と特徴を簡単に紹介する。

小山慶一郎

愛すべきリーダーであり、周りをよく見てグループをまとめることができる。手越くんの可愛いいたづらをいつも笑って許してくれる優しい人。

手越祐也

チャラくてわがままなイメージだが、実はすごく心が温かくて素直な人。そして照れ屋で意志が強くて努力家で本当は真面目。

増田貴久

NEWSのライブの演出、衣装やグッズを手掛けていて、雑誌で私服の連載もしている。アイドルとしてのプライドも高く、信頼しれない。ずっと好きでいたいし、ファンでよかったと思わせてくれる増田くんは本当にかっこいい。

加藤シゲアキ

小説家として活躍していて、自身のソロの作詞作曲もしている。私は加藤くんには表現できない幻想的な世界観の作品がすごく好き。そして、釣り、料理、音楽鑑賞や映画鑑賞、読書などの知識の幅が広い。知的なイメージだが、ライブで小山くんのお誕生日のサプライズで用意したケーキを驚掴みで小山くんにお食べさせたというクレイジーな一面もある。

3. 準備

3.1 分析対象

『うたまっぷ』に掲載されているNEWSの楽曲²229曲²(2003年11月7日～2019年6月12日)を、タイトル、歌手³、作詞家、人数、歌詞の順に1行として入力した。(歌詞のデータは1曲

を1行とした。)

3.2 分析手順

本研究の分析はText Mining Studio Ver.6.2.0(Mathematical System Inc.)を用いて、以下の通りの手順でテキストマイニングを行った。

【手順】

- ①NEWSの楽曲をテキスト入力
- ②Text Mining Studio Ver.6.2.0(Mathematical System Inc.)より分かち書き実行
- ③分かち書き実行の結果よりユーザー辞書・類似語辞書・分割辞書の登録
- ④再び分かち書き実行
- ⑤各分析の実行

3.3 分析方法

分析は、(a)基本情報(辞書登録なし)、(b)類語辞書登録、(c)NEWSの楽曲の自分のイメージ、(d)コンセプト・アルバム3作品の4つに分け、それぞれ単語頻度解析・係り受け頻度解析・注目語情報・ことばネットワーク・対応ネットワークの解析を行い、全体の歌詞の雰囲気を表した。その中でも特に特徴のあった結果について次章で紹介する。

3.4 時期⁴(人数)について

NEWSはメンバーの脱退を繰り返して現在の人数の4人体制となっている。そこで、

9人体制(2003年11月7日)

8人体制(2004年5月12日～2005年7月13日)

6人体制(2006年3月15日～2010年11月3日)

4人体制(2012年7月18日～現在)

の4つの期に分ける。

4. 分析と結果

4.1 (a)基本情報(辞書登録なし)

4.1.1 テキストの基本統計量

述べ単語等の項目については、表1に示す通りとなった。また表2より各活動時期の楽曲数が分かった。50名が楽曲の作詞に関わっておりその中でも図1に示す通り、ヒロイズムさん、zoppさん、TAKA3さん、Hacchin'Mayaさん、Ryohei Yamamotoさん、加藤シゲアキさんの曲が多く歌われていることが分かった。特にヒロイズムさん、TAKA3さん、Hacchin'Mayaさん、Ryohei Yamamotoさんの4名は、4人体制となったNEWSでの楽曲で台頭を表され

のC/W曲として扱う

また人数についてはタイトル曲となる楽曲に参加したメンバー数とする

⁴ 日付については楽曲が発売された日とする

¹ NEWSの名義で発売された楽曲のみとする

またそのCD内に収録されているメンバーのソロ曲については含まれる

² ただし、『うたまっぷ』に掲載されていない4曲は除いた

³ 『Private Hearts』については初収録された『NEWS ニッポン』

ており、逆に zopp さんは6人体制でのNEWSでの楽曲で台頭を表されている。加藤シゲアキさんについては、小説家デビューあたりから作詞も手掛け出したことが分かった。

表 1 基本情報

項目	値
総行数	229
平均行長(文字数)	674.1
総文章数	1316
平均文章長(文字数)	117.3
延べ単語数	34738
単語種別数	6041

表 2 活動時期に対する楽曲数

人数	人数数
4	128
6	80
8	19
9	2

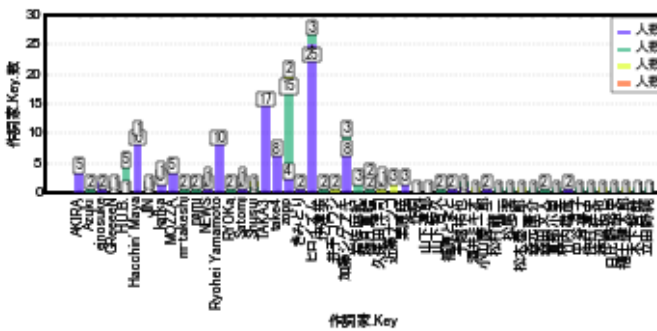


図 1 楽曲提供数

4.1.2 単語頻度分析

(a)の辞書登録なしで分類した。図2よりNEWSの楽曲では「夢」を圧倒的に使われている。図3より「夢」という単語は4人の時に使われている頻度が多い。「愛」という単語は4人と6人で同じくらいの割合で使われていることが分かった。

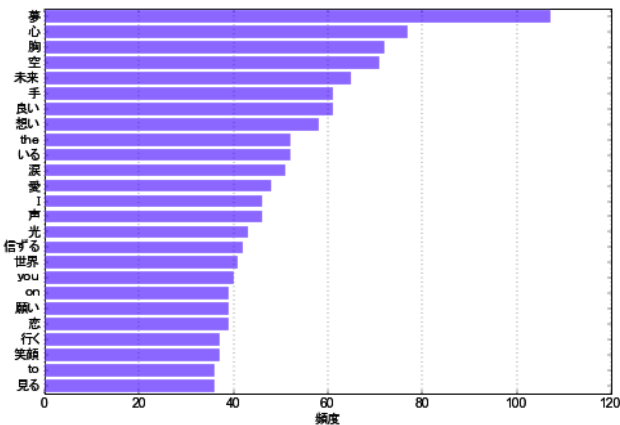


図 2 単語頻度

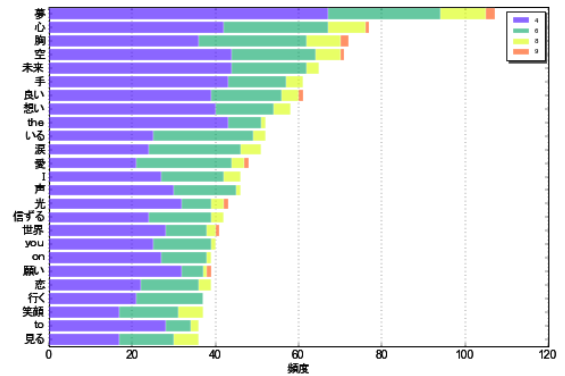


図 3 単語頻度 (活動時期)

4.2 (b) 類語辞書登録

NEWSの曲は造語も多く、曲中にタイトル名が出てくる楽曲もあるので、タイトル名は名詞としてユーザー辞書に登録した。「タイトル」, 違う言葉だけど同じ表現となる言葉も多い「君」「ソラ」「場所」「こころ」「自分」も類似語として辞書に登録した。また、WooやYehのような掛け声は削除語として登録した。

4.2.1 単語頻度分析

図4より類義語として登録した「タイトル」「自分」「君」という言葉が上位に表れたことが分かった。また、図5・6より「愛」という単語は4人の時よりもそれ以前の時のほうがよく使われている。NEWSをあまり知らない人は造語や「愛」「恋」がよく使われているイメージを持っているが、あまり使われていないことが分かった。

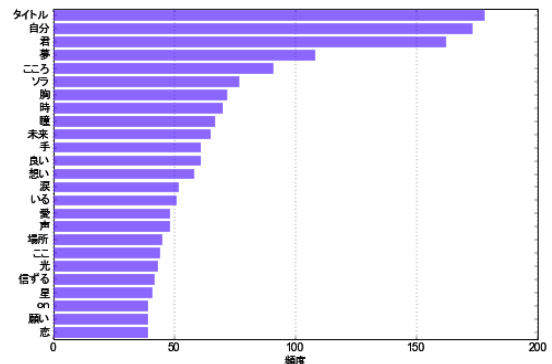


図 4 単語頻度 (類義語登録後)

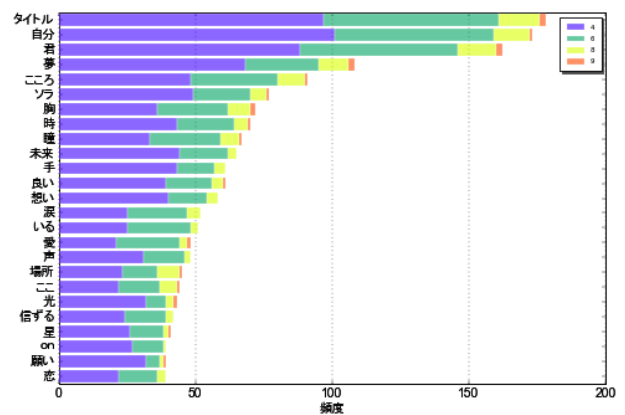


図 5 活動時期に対する単語頻度 (類義語登録後)

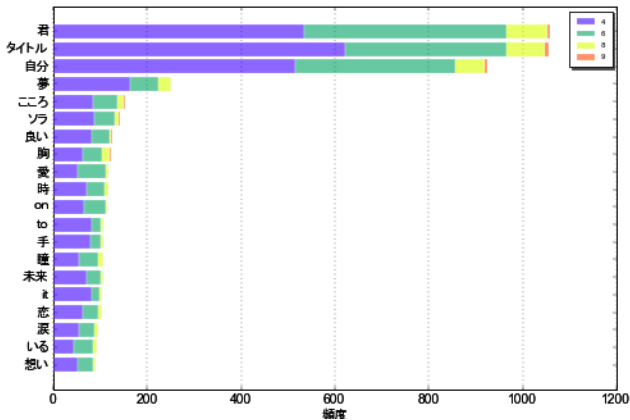


図 6 単語頻度 (回数)

4.2.2 係り受け頻度解析

図7より「君+〇〇」が多い。さらに図8よりコンセプトがなかった6・8人の時はあまり単語に統一感がない。そして6・8人の時はかっこいいやキラキラしている印象だったが、4人になったときは「手一伸ばす」「瞳一閉じる」「背中一押す」「空一見上げる」「時一止まる」のような儂さをイメージする係り受けが増えてきたことが分かった。また、小山くんの切なく聞こえる声や増田くんの優しくて儂い声に合いそうな「空一見上げる」や「瞳一閉じる」などの表現や、手越くんのまっすぐでスピード感のある声や性格に合いそうな「君一好き」や「君一欲しい」などストレートな表現や、加藤くんの深くて落ち着いている声に合いそうな「ここ一いる」や「そば一いる」という表現を使っていることが分かった。

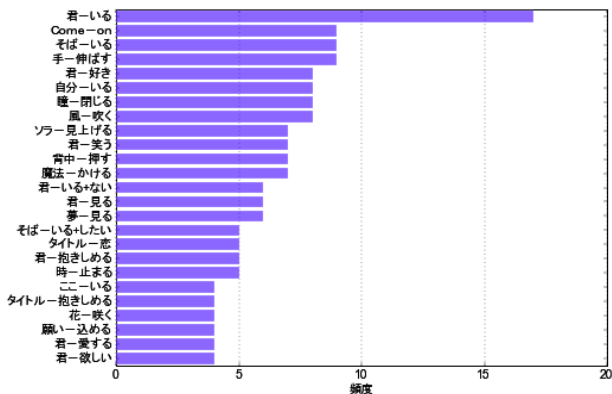


図 7 係り受け頻度

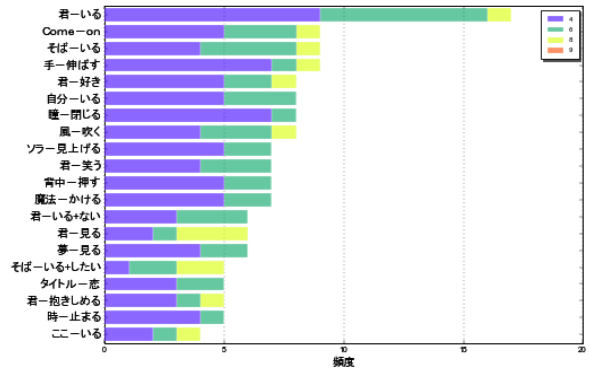


図 8 活動時期に対する係り受け頻度

4.2.3 ことばネットワーク

図9より「タイトル」「自分」「君」を表現が多い。「タイトル」の単語の近くに「自分」「君」を表す単語が使われている。「自分」から繋がっている単語も「君」から繋がっている単語もだいたい同じである。また、共起関係を抽出したところ「君」から繋がる単語が多く、「自分+〇〇」「タイトル+〇〇」が多い、「好き」という単語がもう少し頻度が多いかと思っていたが、表現的には少ないことが分かった。

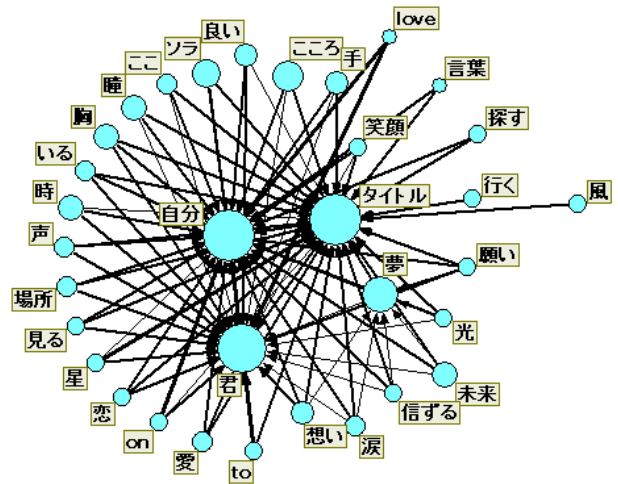


図 9 ことばネットワーク

4.2.4 対応ネットワーク

図10よりアルバム White は光と関連性がある。どの曲も「タイトル」「夢」「ころ」「君」「自分」の周りに集まっているが、特に「生きる」加藤くんのソロ曲はより近い場所にある。

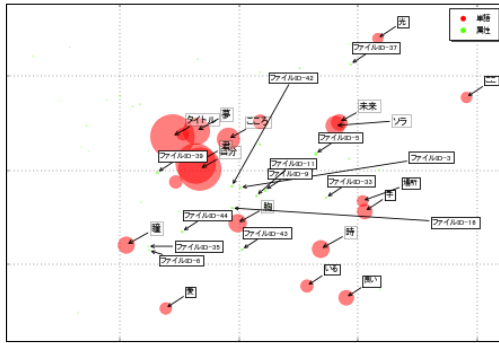


図 10 対応ネットワーク

4.3 (c) NEWS の楽曲の自分のイメージ

全 299 曲の中で、自分の中で「かっこいい」「きれいな」「かわいい」「愛」「テンションUP」「応援」の6つの分類に分けられる123曲について分析を行った。(各分類数については表3に示す)

分類	数
かっこいい	42
かわいい	10
きれい	42
テンションUP	10
応援	14
愛	5
合計	123

表 3 分類に対する楽曲数

4.3.1 対応ネットワーク

図11より「分類:きれい」「分類:テンションUP」は『KAGUYA』や『2人13000000の奇跡』のように分類分けするときに悩んだ曲があるし、『IT'S YOU』や『恋を知らない君へ』のように歌詞重視で選ばないといけないのにメロディー重視になった為、「分類:愛」も近くになったのではないかなと思う。

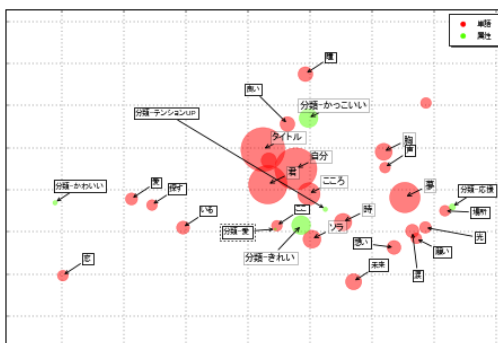


図 11 対応ネットワーク

4.4 (d) コンセプト・アルバム3作品

グループのアルバム・プロジェクトの3作でファンタジーな大作となっている。

NEVERLAND

「炎」「水」「光」「踊」「音」「魔」「愛」の7つのエレメントで創られた空想の世界にNEWSが案内をする。

EPCOTIA

宇宙旅行をテーマにしたファンタジックなアルバム。

WORLDISTA

バーチャル体験をテーマにした仮想空間の世界。パワー（熱量）を集めてファンがゲームに参加できる。

4.4.1 単語頻度分析 (c)

図12では、「自分」と「君」という単語が多い。理由は4人になってから恋愛ソングや応援ソングが多いからだと思う。図13のアルバムで見ると、「夢」「こころ」が多いのはNEVERLANDは夢の世界をイメージしたアルバムであり、「時」「ソラ」「未来」「光」のような単語があるのはEPCOTIAは宇宙旅行をイメージしたアルバムであり、WORLDISTAは仮想空間をイメージしたアルバムだからこれらの単語が程よく散らばっていることが分かった。

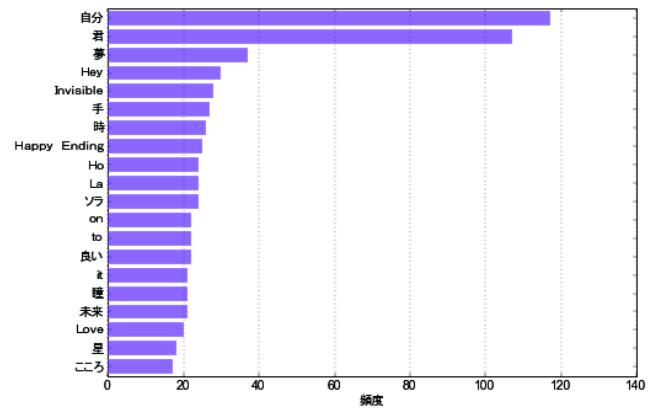


図 12 単語頻度

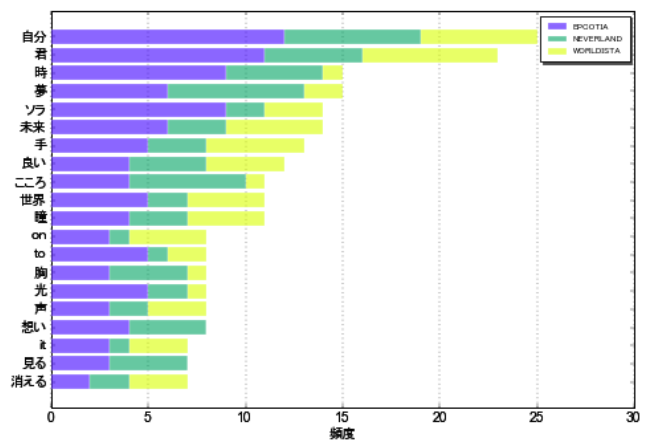


図 13 活動時期に対する単語頻度

4.4.2 ことばネットワーク

図14よりNEVERLANDは「自分」には繋がっているけど、「君」には全く繋がっていない。ファンタジーの世界だから「夢」が多い。EPCOTIAは「君」と繋がっていて宇宙がテーマだから「星」や「ソラ」との繋がりが強い。WORLDISTAはライブでファンと

参加型の企画もあったから「君」の繋がりが1番強く、その次に「自分」がある。

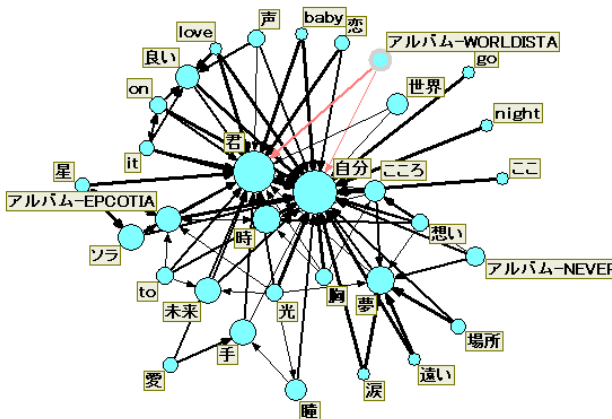


図 14 ことばネットワーク

4.4.3 対応ネットワーク

ことばネットワークからでも分かったが、図 15 より3枚のアルバムは別の位置にあり、どちらかという中心に「自分」と「君」が存在している。また、コンセプトである「夢」や「ソラ」はそれぞれのアルバムの近くにある。

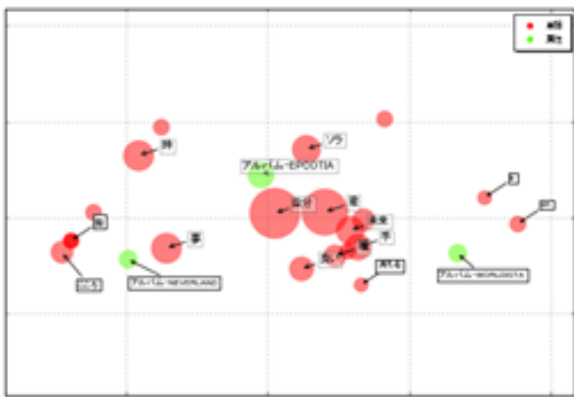


図 15 対応ネットワーク

5. 考察

① NEWS の楽曲での作詞家の統一性

バンドやソロアーティストのように歌手自ら作詞を手掛けることはジャニーズ事務所では多くない。(自らのソロ曲は除く) 4.1.1にも示した通り、NEWSの楽曲では50名が作詞に関わっており、中でもヒロイズムさん、zoppさん、TAKA3さん、Hacchin' Mayaさん、Ryohei Yamamotoさん、加藤シゲアキさんの曲が多く歌われていることが分かった。特にヒロイズムさん、TAKA3さん、Hacchin' Mayaさん、Ryohei Yamamotoさんの4名は、4人体制となったNEWSでの楽曲で台頭を表されており、逆にzoppさんは6人体制でのNEWSでの楽曲で台頭されている。4人体制になる以前の楽曲を見ると、zoppさん以外は、ほぼ毎回作詞家が違うということなので、統一性がなかったのではないかと思います。逆にいえば、4人体制のNEWSでは同じ作詞家さんの曲を歌うことで、

作詞家さんとの意思の疎通ができ、現在のNEWSのメンバーが持っている世界観をより深く伝えていることができているのではないかと考える。

② NEWS の楽曲のイメージ

私は、「やさしい」「ふわふわ」「キラキラ」というイメージを持っていた。また、NEWSをあまり知らない友人に聞いたところチャンパーナやチュムチュムなど「造語」をよく使っているイメージがあるといわれた。

実際に、解析を行ったところ、「タイトル」(造語)がよく使われていた。「笑う」や「光」や「夢」「涙」が私の感じていた「やさしい」や「ふわふわ」や「キラキラ」を連想させる言葉になっていたのではないかと思います。

③ NEWS コンセプト・アルバム

NEVERLAND・EPCOTIA・WORLDISTAは「NEWSが〇〇の世界に案内する」というコンセプトとなっている。3作品とも「自分(つまりNEWS)」「君」というキーワード上に世界観が繋がっていることが分かった。

図14のことばネットワークから4作品目となる次回のコンセプト・アルバム(STORY)を勝手に予想してみることにした。「君」と「自分」は繋がりがより強くなりそう。STORYは「未来」にも関連していると予想する。3枚目のアルバムで繋がりが強かった「ソラ」や「夢」も繋がる可能性もあるかと思う。また、それぞれのアルバムに直接関係のない「恋」や「愛」が4枚目のアルバムに重要キーワードとして現れるのではないかと思います。

④ NEWS の楽曲はなぜ心に響くのか?

4人のそれぞれ違う歌い方がNEWSの魅力である。小山くんは少し苦しげだけどそれが切なく聞こえる声、手越くんのまっすぐでスピード感のある声、増田くんの優しくて儂い声、加藤くんの深くて落ち着いた声、のように全員違う声でNEWSの楽曲が心に響く理由だと思う。それをイメージさせる係り受け語句が歌詞に出てくることにより相乗効果が生まれているのではないかと思います。

6. おわりに

今回の分析で初めてテキストマイニングを使って、関連性や使われているのが多い言葉を知ることができて楽しかった。コンセプト・アルバムだけに注目をすることばネットワークから連想される4枚目のアルバムの予想を立てるのが楽しかった。普段何気なく聞いている曲だけど、深く考えるきっかけになって、NEWSの曲を聴くのがより好きになった。

今回の研究の機会を与えてくださったNTTデータ数理システムさんには深くお礼申し上げます。

【参考文献】

うたまっぷ : <http://www.utamap.com/>

NEWS (グループ) - Wikipedia :

[https://ja.wikipedia.org/wiki/NEWS_\(グループ\)](https://ja.wikipedia.org/wiki/NEWS_(グループ))